

体育実技 (Sports Exercise)				担当教員	
				准教授	長澤 吉則
				講師	沼尾 成晴
科目群	開講期	単位数	必修等		
体育	1年次 前期後期	1単位	必修		

【概要】

近年の急激な都市化や生活の利便化は、日常生活における身体を動かす機会や場を減少させている。また、食生活、生活水準の向上および自由時間の増大等は健康増進、疾患予防、体力向上の更なる必要性を高め運動・スポーツを不可欠なものとしている。さらに、スポーツは人生をより充実させる「生きがいづくり」や「文化」として重要な意義を持っている。健常者はもとより、有疾患者、身体的弱者にとっても重要なことは述べるまでもない。医療従事者となる本学学生諸君にとって、体育という場でスポーツを自ら体験し学ぶことは将来への貴重な経験となるであろう。

【授業の一般目標と、準備学習】

各種スポーツの実践を通して、体力や運動技能を高めるとともに、スポーツの楽しさや仲間とともに行う喜びを味わう。また、身体面に関する自己管理の知識と態度を養い、生涯を通じて運動やスポーツを実践できる資質を向上させる。

【学習項目・学生の到達目標】

No	学習項目	担当教員	学生の到達目標
1	オリエンテーション (14週の第一週に行う)	長澤吉	体育実技において、スポーツを行う目的・意義を理解する。学習の行い方やルール、マナーなど授業に臨む態度、および評価等について理解する。
2	体育館種目7回 (バドミントン、バレーボール、バスケットボール、卓球など)	長澤吉	1、チームや個人の技能水準に応じた課題解決を目指して、計画的な練習や試合ができる。 2、グループやチームの一員として役割を自覚し、責任や協力のもとに行うことができる。 3、健康や安全に注意して練習や試合を企画運営できる。
3	屋外種目、7回 (硬式テニス、軟式テニス、サッカー、ソフトボールなど)	長澤吉	体育館種目時と同じ

【成績評価方法・基準】

原則として、日常評価（出席、態度）とする

【備考】(担当教員に対する質問等の連絡方法)

連絡先：ynaga@mb.kyoto-phu.ac.jp（長澤吉准教授）
